

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 23 年 5 月 9 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	京都大学宇治キャンパスにおける CO2 排出削減事業計画
承認番号	JCDM-PJ0096
排出削減事業者名	国立大学法人 京都大学
排出削減共同実施事業者名	関西電力株式会社
事業実施場所	国立大学法人京都大学宇治キャンパス (京都府宇治市五ヶ庄)
事業の概要	京都大学宇治キャンパスにおける照明設備の更新及び高効率変圧器への更新という複数の方法によって宇治キャンパスの省エネを図るものである。 ① 京都大学宇治キャンパス内の研究所本館と巨大災害研究センターに設置された照明安定器をインバーター安定器とソケットの交換により高効率安定器に更新する。これにより電力使用量を削減し、CO2 排出量を削減する。 ② 京都大学宇治キャンパス内の既存変圧器 16 台を高効率型変圧器に更新する。これにより、変圧器の電力使用量を削減し、電力使用に伴う CO2 の排出量を削減する。
排出削減量の計画	68 tCO2/年 (事業実施期間合計 272 tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新 方法論番号 010 変圧器の更新

2. 本実績確認の対象期間

2009年4月1日～2011年3月31日（第1回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	95tCO ₂ （2009年4月1日～2011年3月31日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画通りに、各方法論の事業がすべて実施されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間における電力使用量時間記録に基づき事業者が把握した稼働時間実績等により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることは、計画審査の際に確認済み。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認事業計画に従って、各種データや根拠資料が記録、管理、集計されていることを確認した。 【方法論番号 006 照明設備の更新】 施設（棟）タイプ毎の電力使用量時間記録から把握された各棟の作動時間および開校日により照明稼働時間が把

	<p>握、集計されていることを確認した。</p> <p>【方法論番号 010 変圧器の更新】</p> <p>事業実施後の平均負荷率については計測された電力使用量実績値から算出されていることを確認した。</p> <p>2) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>3) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2009 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 77.9k1 であることを確認した。